

各 位

**株式会社シティインデックスイレブンスによる東芝機械株式会社株式に対する
公開買付けに関する声明**

東芝機械労働組合

東芝機械株式会社（以下、「会社」という）が公表した、2020年1月21日付の「株式会社シティインデックスイレブンスによる東芝機械株式会社株券に対する公開買付けの開始に関するお知らせ」にあるように、株式会社シティインデックスイレブンス（以下、「公開買付者」という）は、会社株式に対する公開買付け（以下、「本公開買付け」という）を開始しました。

これを受け、会社が公表した2020年2月12日付の、「株式会社シティインデックスイレブンスによる当社株式に対する公開買付けに関する意見表明（反対）及び株主意思確認総会の開催のお知らせ」にあるように、会社の取締役会は、本公開買付けに反対の意見表明を行いました。

以上の経緯を受けて、今般、東芝機械労働組合（以下、「当組合」という）としましては、機関会議での議論の結果、この会社の反対意見表明に対して賛同する旨（本公開買付けには反対する旨）を確認しました。

もちろん、このような事態を招いたことについては、企業価値向上に向けたこれまでの会社の取組みに十分ではない点があったことも一因であると考えられ、当組合としても、成長投資や事業再構築の推進について、労使間の協議を通じて、より積極的に提言すべきであったと反省しています。今後、労使協議を通じ、会社の施策の不十分な点を是正克服し、労使一致して会社の発展に寄与していく所存です。

会社が2月4日に公表した「新生『芝浦機械』に向けた経営改革プラン」は、労使双方において痛みを伴う内容ですが、経営サイドも経営改革プランの達成に向けて、新社長が最高執行責任者に就任し、全社一丸で改革に取り組む姿勢を明確に示すとともに、会社役員もその報酬の自主返上を実施するなど不退転の決意で臨んでいます。

東芝機械グループで働く仲間は、製造・販売する製品を通じて、豊かな価値の創造により、産業の基盤づくりに寄与し、世界の人々の生活・文化の向上に貢献するため、世界のモノづくりを支える世界で一番の企業を目指し、一人ひとりが日々の業務に奮闘しています。また、これを愚直に成し遂げることで、企業価値向上ひいては株主価値向上を実現していく所存です。

私たちはコーポレートガバナンスの実践や株式公開買付け自体を否定するつもりはありません。しかし、公開買付者は、具体的な経営方針を示すことなく、ただ、自らの短期的な利益のみを追求していると感じざるを得ず、公開買付者と私たちの考えには大きな隔りがあると認識しています。また、本公開買付けが成立した場合、公開買付者の目的は、不分明ですが、公開買付者が会社の経営権を支配し、株主利益のみが優先され、企業としての中長期的な観点からの健全経営に相反する結果を招く可能性が高いと危惧します。新たな経営陣が経営効率化以前の名のもとで、短期的な株主利益のみを追求する施策が実行され、私たち労働者の雇用の維持・労働条件ひいては生活そのものにも多大な影響を与えることは明白です。このようなことになれば、これまで永年に渡って築き上げてきた当組合と会社との労使の信頼関係が損なわれ、従業員の労働意欲の低下、離職の増加、それらに伴う生産性の悪化は免れず、働く仲間とその家族の生活や、多くのステークホルダーの利益に重大な悪影響を及ぼすと想定されます。

以上のことから、当組合としましては、公開買付者は短期的な利益のみを追求し、まじめに働き、まじめに生活する東芝機械グループで働く仲間を食い物にするものと捉え、働く者の立場から本公開買付けに対し断固反対の意思を表明します。

以 上